

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模集落応援隊の活動により、草刈りや河川の清掃等が行われ、集落維持が図られた。 ・地域コミュニティ組織だけでなく、生活支援の点から地域を支える多様な主体が形成されている(住民有償サービス、社会福祉協議会等)。 ・公営水道事業の効率化及び人材育成を推進するとともに、公営水道の整備が困難な小規模集落等については、水問題の解決に積極的に取り組む市町村に対して、中長期整備計画の策定や小規模給水施設の整備等を支援した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村やバス事業者と協議しながら、中部圏域で「地域公共交通再編実施計画」を策定するとともに、東部圏域で「地域公共交通網形成計画」を策定した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ組織の設立だけでなく、大分県地域コミュニティ組織広域協議会や先端技術を活用した課題解決、福祉分野との連携などを通じて、組織の継続運営支援や課題解決手法の多様化、充実が図られた。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近な道路整備への要望に対し、既存道路敷を利用して歩道幅員や路肩の拡幅など小規模な工事を行い、生活道路の利便性・安全性の向上を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①③	ネットワーク・コミュニティ推進事業	99.9	112
①	公営水道運営基盤強化推進事業	100.0	112
	小規模給水施設水源確保等支援事業	109.1	112
②	地方バス路線維持対策費	95.8	113
	生活交通路線支援事業	95.8	113
	地域公共交通活性化事業	100.0	113
	バス乗務員確保対策支援事業	85.7	113
④	(単)身近な道改善事業	90.1	81
	交通安全事業	—	81

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活カ・発展プラン2015」中間見直し委員会 安心部会(R1.6、10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織ややりたいことのある人への支援は充実しているが、何をしたらよいか不明な人や組織のないところへの支援は苦手という印象。 ・目標指標では構成集落数を増やすとしているが、もうちょっと頑張ってもよいのではないかと。団塊の世代が高齢化する中、こういった取り組みを進めるのはこれが最後のチャンスと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○連合大分「2020年度予算編成に関わる要請」(R1.10) ・地域公共交通については、子どもの通学や自動車運転免許証を返納した高齢者の通院など、高齢者や障がい者の外出機会の保障とまちの活性化が必要であることから、各地域に応じた交通シビル・ミニマム(生活基盤最低保障基準)を示すことに加え、公共路線維持に向け市町村と連携して取り組むこと。 ○大分県政共闘会議「2020年度県当初予算に関する要求」(R1.11) ・バスなどにおける高齢者の車内事故防止のため、高齢者学級などでバスの乗り方教室を開くなど事故防止に向けた取り組みを行うこと。
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ組織の設立・運営に関する専門家の活用や事業の要件緩和を通じて、ネットワーク・コミュニティの構築を加速させる。 ・関係市町村やバス事業者と協議しながら、東部圏域で「地域公共交通再編実施計画」の策定作業を進めるとともに、西部圏域で地域公共交通のマスタープランである「地域公共交通網形成計画」の策定作業に着手する。また、北部圏域と豊肥圏域の「地域公共交通再編実施計画」の見直し作業を進める。